観光は平和へのパスポート
国連世界観光年宣言

JHSたより

令和元年7月30日（15,000部） 発行
2019.7 Vol.66

学校法人日本ホテル学院
発行所／専門学校日本ホテルスクール
一般財団法人 日本ホテル教育センター
〒164-0003東京都中野区東中野3丁目15番14号 TEL.03-3360-8231(代)
https://www.jhs.ac.jp http://www.jec-jp.org/ FAX.03-3360-8584

連載漫画・[Hotelier－ホテリエ]、6月19日初版発売

～多くの人々にホテルへの関心が高まることを期待して～
集英社及び作者と協力、初版記念にエピソードを公募

去る6月19日、集英社から連載漫画・[Hotelier－ホテリエ] 第1巻（原作：城アラキ、漫画：川口幸範）が発売になりました。内容的には、世界有数のホテル激戦区・東京で、新たなスタートを切った老舗「財前ホテル」で、日本が誇る“おもてなし”をモットーに、新任チーフコンシェルジュに抜擢された榊原遼が、次々と巻き起こるトラブルに奔走、仲間たちと果敢に挑んでいくと言う、ホテルで働く者たち＝ホテリエの成長と活躍を鮮やかに描いたもの。

この初版発行を記念して、集英社、原作者城アラキ先生及び漫画家川口幸範先生と協力して、本校が「あなたのホテリエ人生で印象的なエピソード：感動の物語、失敗談、想定を超えた出来事、ホテルで起きた奇跡など」を公募しています。応募作品の中から20点を本校の教職員が厳選し、選ばれた方には作家直筆サイン入りコミックス1巻を贈呈、後日、指定日時に、授与式を行います。詳細は、
http://grandjump.shueisha.co.jp/hotelier/

以前に、1984～1998年、石ノ森章太郎先生の原作による漫画「ホテル」が小学館ビッグコミックで331話33回に渡り連載され、全37冊の単行本が発刊されたことがあります。併せて、1990～2002年、12年間に渡りTBSテレビで第1～第5シリーズ、84回の連続ドラマとして放映されました。特にテレビドラマは空前のヒット、「姉さん、事件です」のセリフでも有名になり、多くの若者にホテルマンに憧れる夢を培いました。参照：https://www.shogakukan.co.jp/books/09184477 こうした世論を背景に、当時、石塚校長と武田広報課長が石ノ森章太郎先生に面会し、1992～1998年、本校の評議員に就任していただいたことがあります。

ホテルマンを主題にした漫画やテレビは、非常に大きな社会的影響がありました。漫画は、脚色や演出もありますが、何よりも、面白く、楽しく、分かりやすく、単刀直入に、真実や本質を読者の心に伝えることができるからだと思います。約20年ぶりに発刊される、ホテルマンを主題にした今回の連載漫画の単行本「Hotelier－ホテリエ」が、多くの若人にホテルやホテルマンの魅力を伝えて欲しいものです。

電話応対「ホテスクST杯」を創設
接客技術の向上の一環として

校長　石塚　勉

「ST」とは、「電話応対をスマートに」の意味を含めた造語「Smart Telephone」の頭文字の略称です。

企業の第一印象を良くするため、どこの企業でも新入社員教育に欠かせないのが、電話応対です。特にスマホ世代の若年層は、ビジネスでの電話応対が苦手の傾向があり、入社後、社内教育の一環として力を入れている課題の一つになっています。

本校では、接客技術の向上の一環として、電話応対に磨きをかけ、さらに向上を図るため、「ホテスクST杯」を創設しました。通常の授業だけでは充分カバーできない部分を補強する意味で、コンテストを開催し、電話応対にクラブ活動やゲーム感覚で参加してもらい、競争心を刺激しあう過程で、互いに切磋琢磨してもらい、そして審査の結果、優秀な者を表彰、「ホテスクST杯」を授与しようとするものです。

当面、「ホテスクＳＴ杯」は、学内行事の一つとしてスタートしますが、既に2009年から公益財団法人日本電信電話ユーザ協会が、「お客様に喜ばれるビジネス電話応対」の実現、電話応対のエキスパート・社内指導者の育成を目的とした「電話応対技能検定」を実施しておりますので、今後は、こうした団体との連携も視野に入れ、本校学生全体の資質向上に役立ててゆきたいと思います。

本校の会議室にて原作者城アラキ先生（右1）、漫画家川口幸範先生（右2）と意見交換する川上忠道広報部長（左1）と中島宣由紀先生（左2）

ホテスクST杯予選会出場の6チーム12名の学生

2019年度入学式を挙行
～402名がホテル・ブライダル業界をめざし入学～

2019年度入学式を4月10日、なかのZeroホールにて挙行、402名がホテル・ブライダル業界をめざし入学しました。

当日は約260名の保護者がご列席、ご来賓として、観光関係団体、企業および教育関係者計で26名にご臨席賜りました。

新入生代表挨拶
夜間部ホテル科1年　小野 莉奈さん

担任の紹介

2019年度　1年生担任			
A	上野　真志	F	井上　貴彦
B	中島　宣由紀	G	井上　浩
C	佐藤　健太郎	H	小野　昭彦
D	井上　正子	J	神保　江津子
E	吉岡　康子	L	江口　幸

外国人留学生19名のオリエンテーションを実施
～中国、香港、韓国、台湾、ベトナム、ミャンマー～

今年は19名の留学生（中国2名、香港1名、韓国10名、台湾3名、ベトナム2名、ミャンマー1名）をホテルスクールの仲間としてお迎えしました。これからは多くの日本人に囲まれ、まったく異なる環境で学校生活がスタートします。そんなみなさんの不安を取り除くべく、留学生オリエンテーションを実施しています。

石塚勉校長の歓迎の言葉

説明に真剣に耳を傾ける留学生

留学生の先輩、先生と一緒に記念写真

2020年度生　加豪留学説明会開催
～オーストラリア・メルボルン両校の先生方によるプレゼンテーション～

2020年度出発予定の学生対象に加豪留学説明会を実施しました。説明会には、カナダ　ダグラスカレッジよりJennifer Zhao氏、Mark Elliott氏、オーストラリアよりウインスタンリー亮子氏、Ai Lin氏が来校し、両校10ヶ月の留学プログラムの紹介を行いました。2018年度留学を経験した現2年生の先輩方も参加し、1年生に対し留学体験や海外で生活する大変さや楽しさなど話していただきました。留学希望の1年生は説明会を聞き、2020年度どちらの渡航先で勉強するかを悩み、先輩や先生たちからアドバイスをもらうとともに交流を楽しんでいました。

両校の先生方と留学経験の2年生

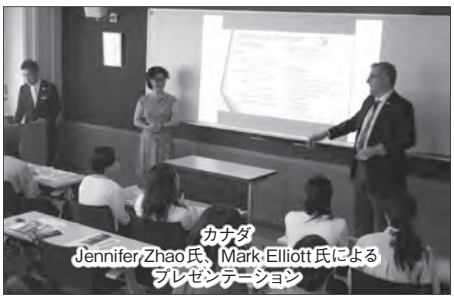
カナダ・オーストラリア　留学制度

本校の留学制度は昼間部・夜間部、全科共通で希望者は誰でも留学できる制度です。

留学先は、カナダ・バンクーバーまたはオーストラリア・メルボルンから選択可能。両校とも将来、ホテルなどのホスピタリティ産業で活躍できることを目的に提携しています。カリキュラムの内容は、英語力の向上と海外のホテル事情の理解度を深めるプログラムとなっています。

1991年から始まった本校の留学制度は、2018年修了生まで合わせて1865名が経験、英語力だけでなく異文化交流や異文化理解など様々なことを学んでいます。

熱心に耳を傾ける留学希望者


カナダ
Jennifer Zhao氏、Mark Elliott氏による
プレゼンテーション

留学経験者や担当の先生との交流会

昼・夜間部1年生　現場実習「ステイマナー宿泊研修」を実施
～横浜ベイホテル東急（昼間部）・ハイランドリゾートホテル＆スパ（夜間部）～

昼・夜間部1年生を対象とした「ステイマナー宿泊研修」を、6月4日から7日の期間に実施しました。

この宿泊研修は、プロのサービスを受けながら食事や模擬披露宴を体験し、現場のホテルスタッフのもと、ベッドメイキングやテーブルセッティングなどの基礎技術を学びます。「ホテルスタッフ」と「ゲスト」双方の視点でホテルを体験することで、ホテルの現場の理解をより深め、現実的なホテル・ブライダル・レストランの仕事・職業観を育成することを目的としています。

昼間部は2泊3日で、横浜ベイホテル東急、夜間部は1泊2日でハイランドリゾートホテル＆スパにて、ホテル側の全面的なご協力のもと実施しました。

料飲サービス演習　スタッフの皆さんから指導を受けます

テーブルセッティングの指導を受ける

テーブルセッティング演習

学生は、実際の宴会場で宴会用のテーブルセッティング、料理を持って持ち回りサービスなど、スタッフの立場で研修を受けました。

研修期間中は料飲サービスのみならず、客室のベッドメイキング、そして宴会場における模擬挙式・披露宴も行われ、ホテルスタッフとゲストの両面の立場での体験を通じて、ホテルの理解を深めました。

自身が宿泊した部屋のベッドメイキングに挑戦

食事サービス演習
学生がサービススタッフとなり、食事を提供します

ブライダル科を対象としたホテルのチャペルでの模擬挙式体験

研修を通じて、本物のサービス精神や技術に触れたことで、学生にとって、良い刺激になり、ホテル・ブライダル業界での活躍を目指す上で必要となる知識やサービス技能がどのようなものなのか実感し、今後の目標を確認する機会になりました。

1年生対象　球技大会を開催
～ クラスの親睦を深める ～

入学から1か月経ち、新入生も次第に学校生活に慣れてきた5月10日、1年生対象の球技大会が東京武道館の武道場を貸し切って開催されました。

クラスごとにおそろいのＴシャツを作って一致団結！優勝は1年Ａクラスでした。

今まであんまり話したことのなかったクラスメイトとも、この大会で親睦を深めました。

優勝　1年Ａクラス　担任：小野先生

担任の先生方も活躍しました

優勝チームには優勝旗と賞品が贈られました

白熱の戦い

コミック『HOTELIER-ホテリエ-』　原作：城アラキ先生　漫画：川口幸範先生
JHSが全面協力　中島先生・川上先生がインタビューを受ける

6月19日に発売された、「HOTELIER-ホテリエ-　コミック第1巻」日本ホテルスクールは、全面協力しました。

左から、中島先生、城アラキ先生、
川口幸範先生、川上先生

インタビューを受けた中島先生も川上先生も現場時代を思い出し話していてとても楽しかったとのこと。ホテリエ時代の、レストラン、宴会、宿泊、企画部とどんどんお話して、こちらもネタが尽きることはありませんでした。

ホテルやレストランで起こったお客様との感動秘話、驚きの体験、失敗談など、全て実話です。

現在グランドジャンプ（集英社）にて絶賛連載中です。

1年生対象　防災体験を実施
～東京消防庁池袋都民防災教育センター～

1年生を対象とした防災体験授業 を、「東京消防庁池袋都民防災教育センター」で実施いたしました。

消化体験

「お客様の命と財産を守る」のはホテルマンの使命です。

実際に火災や地震が万一発生した場合、サービスの現場では素早い判断・行動とお客様への安全な非難誘導が求められます。この体験は防災とは自分の身を守るだけではなくお客様の命を守る重要な役割を担っているということを再認識する貴重な機会となりました。将来ホスピタリティ業界へと進む学生たちはさらに防災への意識が高まったことと思います。

煙の中での避難方法を学ぶ

人形を使って心臓マッサージ

東日本大震災の揺れを体験

卒業生を迎え　実習体験講話
～ホテル・ブライダル実習を前に～

昼間部1年生のホテル科（E、Fクラス）、英語専攻科（Lクラス）、ブライダル科（Dクラス）の学生は、7月10日から第1回目の現場での実習が始まりました。

実習を前に、初めての実習を控えた学生に対して、実習を体験した卒業生を招き実習講話を行いました。

今回の講話には、パレスホテル東京でレストラン課（インルームダイニング）で活躍している青木健太さん（2019年卒）にお越しいただき、実習を経験した卒業生として、これから初めての実習を経験する在校生に対して経験談をもとにアドバイスして頂きました。

青木さん（右）と在学中の担任 井上貴彦先生

クラブ活動紹介

フットサル同好会

30名の新入生も参加

2019年度の初回活動を5月6日妙典イオンモール「BRIOBECCA FIELD 妙典」にて行いました。

今年は、新たに50名の部員が加わり、昨年にも増して活気が溢れていました。

1年生も積極的に参加

初回活動という事で、若干1年生が緊張気味ではありましたが、試合を行いながら徐々に先輩方とも打解け、休憩時間には、2年生が積極的に1年生に声をかけ、学校生活の事や就職活動の話をしていました。

今後は、フットサルの活動を通して、在校生だけではなく、卒業生・企業の方々との繋がりも大切にしていきたいと思います。

マネージャー：山田美生・山銅伶那

ホテル＆ブライダル研究会

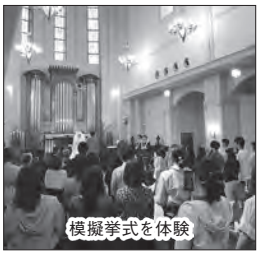
5月19日、コルティーレ茅ヶ崎で実施された『Wedding Dress Festa2019』に1年生8名、2年生2名、計10名が参加しました。

テーマに沿ってテーブルコーディネートされている装飾に学生たちもワクワクした様子。模擬挙式の体験では、湘南エリアでも圧倒的なスケールを誇るチャペルでの模擬挙式に、みんな圧倒されていました。

卒業生の石塚泰葉さん（中央）と

パシティエ特製のスイーツやドリンクを楽しみ、最後に新作ドレスのファッションショーを見学しました。

パシティエ特製のスイーツを堪能


模擬挙式を体験

～JHS同窓会便り～

JHS同窓会　役員会を開催
～今後の同窓会活動の方向性を確認～

6月21日、2019年度のJHS同窓会役員会を学校で開催しました。

2018年度の事業報告および収支決算報告の後、2019年度の事業計画および収支予算について審議しました。また、2021年の創立50周年記念同窓会開催計画が議題に上がり、今年度から東京本部を中心に計画を進めていくことを確認しました。

前列左から：田中俊彦 副会長、中島宣由紀 会長、赤澤儀一 副会長
後列左から：石塚崇 事務局員、下田憲司 事務局長、菊野哲二 監事、川辺修 副会長、石塚 勉 校長
（寶藏寺雅博 監事、川上忠道 事務局員は欠席）

第51回 同窓大学 沖縄を開催
～カフーリゾートフチャクコンドホテルにて～

3月11日、第51回 JHS同窓大学を沖縄県国頭郡恩納村のカフーリゾートフチャクコンドホテルで開催し、16名が参加しました。

勉強会風景

参加者の皆様

特別教授として、KPG HOTEL & RESORTS 取締役社長 兼 COO 田中 正男 様に沖縄観光事情とKPG HOTEL & RESORTSの取り組みについてお話いただきました。同ホテル勤務の卒業生4名、ルネッサンスリゾートオキナワの卒業生2名、ザ・リッツ・カールトン沖縄の卒業生1名も参加してくれました。

■同窓会に関するお問い合わせ
同窓会事務局：TEL:03-3360-8231　FAX:03-3360-8584

第27回JHSソムリエクラブを開催
～横浜元町 霧笛楼にて～

参加者の皆様

当校には、全卒業生を対象とした同窓会や、交流・情報交換をする会合があり、その中でも『JHSソムリエクラブ』は、特にワインや料飲に携わる卒業生勉強の場として、また卒業生同士の交流を深める場として年2回の会合を開催しています。

第27回JHSソムリエクラブを横浜元町 霧笛楼（横浜元町）で2月26日に開催しました。

今年で14年目を迎えたJHSソムリエクラブは料飲に携わる卒業生や関係者中心に年2回の活動を行っています。今回、横浜での開催を提案いただき、大正ロマンを感じる趣あるレストランでの実施となりました。

左：今平総料理長
右：畑山正治ソムリエクラブ会長（1995年卒業）

乾杯挨拶
鳴海圭介さん（1995年卒業）

■ソムリエクラブに関するお問い合わせ
川上忠道　TEL：03-3362-5001　kawakami@jhs.ac.jp

卒業生近況　株式会社 ひらまつ

左から：黒沢先生（女将会アドバイザー）、佐藤さん、堤さん、
石塚校長（女将会顧問）、五浦観光ホテル　村田女将

6月13日、「日本旅館国際女将会」（1995年日本ホテル教育センターが設立、顧問　石塚 勉校長）の総会・勉強会が六本木の株式会社 ひらまつ オーベルジュ・ド・リル・トーキョーで開催されました。

当日は、卒業生 堤 燿子さん（2014年卒）と佐藤 笑里さん（2017年卒）の心のこもったサービスに参加者の女将さんからは、お褒めの言葉を頂きました。

オーベルジュ・ド・リル・トーキョーはフランス アルザス地方で100年以上続く名店の東京店です。

第7回JHSゴルフクラブコンペを開催
～成田の森カントリークラブにて～

6月1日、千葉県香取市・成田の森カントリークラブにおいて、JHSゴルフクラブのコンペを開催しました。今回は参加者11名でしたが、天候にも恵まれ、世代を超えて楽しいコンペとなりました。次回は11月下旬に開催予定しています。

入会希望者は、JHS同窓会事務局までご連絡ください。

優勝は中央：
新井（旧姓 野口）裕子さん（1997年卒）

参加者の皆様

■JHSゴルフクラブに関するお問い合わせ
川辺修　TEL：03-3360-8231　kawabe@jhs.ac.jp

財団ニュース

2019年度合同入塾式を挙行
第19回ホテル産業経営塾・第9回MICE塾
～産業経営塾23名、MICE塾13名の計36名の幹部の方々が入塾～

集合写真

5月10日、当財団が主催する「第19期ホテル産業経営塾」、「第9期MICE塾」の合同入塾式及びオリエンテーションが執り行われました。

当日は、主催者の石塚勉理事長の挨拶に始まり、ホテル産業経営塾：田中勝名誉塾長、藤崎斉副塾長、MICE塾：川島久男塾長、徳永清久副塾長、浅井久乃特別顧問が出席、それぞれの立場から新入塾生に祝辞とメッセージが送られました。

また、来賓としてご臨席の両塾同窓会会長南安氏（株式会社ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツ常務取締役）より、祝辞と励ましの言葉を頂戴しました。

株式会社ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツ
南 安 常務取締役

MICE塾
川島久男 塾長

MICE塾は、2011年観光業界への啓蒙、そして政府の政策を支援する事業として開塾したものです。これまで89名が卒塾しています。

ホテル産業経営塾
田中 勝 名誉塾長

ホテル産業経営塾は、2001年に開塾結果を残すことのできるホテルのミドルマネジメント、経営・運営責任者の育成を目的としており、これまでに396名が卒塾しています。

MICE卒塾　MICE塾「チームビルディング」を聴講

MICE卒塾生の菅 優子さん（2018年度卒・第8期生）が、6月21日、MICE塾「チームビルディング」（講師：株式会社チームビルディングジャパン代表取締役　河村甚氏）の講義を見学のため来訪されました。

菅さんは、福岡県から1年間MICE塾に通い、優秀プレゼンテーション賞を受賞、2018年に卒塾しました。今年6月からは、広島県福山市のMICE誘致ディレクターとして委嘱を受け、活躍しています。今後は誘致戦略の構築や実際の会議運営などを主導されるとのことです。

■ホテル産業経営塾・MICE塾に関するお問い合わせ
事業本部　浅山恵一　asayama@jec-jp.org TEL：03-3367-5663

卒塾生　菅 優子さん
講師・河村 甚氏

事務局一同、菅さんのこれからのご活躍を祈念しております。

日本旅館国際女将会 通常総会を開催
～オーベルジュ・ド・リル　トーキョーにて～

日本旅館国際女将会（日本ホテル教育センターが設立）　2019年度総会が東京都港区のフレンチレストラン「オーベルジュ・ド・リル　トーキョー」で開催され、会員、関係者37名が参加しました。

総会後は、旅館・ホテルのコンサルティングを手掛けるアルファコンサルティングの青木康弘氏が「失敗しない　旅館・ホテルの働き方改革実践方法」と題して講演しました。

勉強会風景

青木氏は「働き方改革法が旅館・ホテルに与える影響は大きい」と指摘。具体的な注意点として（1）時間外労働の上限規制、（2）勤務間インターバル規制、（3）有給休暇5日取得義務、（4）同一賃金、同一労働（5）休日数に対する関心の高まりを挙げました。

また、生産性向上に向けた数々の方策も紹介し、レベニューマネジメントの概念と具体的手法、清掃スタッフのモチベーションアップ策、無駄な業務を省くためにスタッフ一人ひとりから「業務診断・改善提案シート」を集める取り組みなどを解説しました。

編集責任者：石塚　勉
編 集 担 当：黒沢由美子
連　絡　先：03－3360－8231　kurosawa@jhs.ac.jp